

令和4年度 幼保小連携推進地区事業活動報告書

「幼児・児童の育ちや学びの連続性が実る  
接続期カリキュラムの開発」

戸塚区 下郷小学校  
戸塚第二幼稚園

# 「幼児・児童の育ちや学びの連続性が実る 接続期カリキュラムの開発」

## 【設定の理由】

子どもたちは幼稚園や保育園でいろいろな経験をして小学校に入学してきている。なんでもやってもら・教えてもらうという立場ではなく、今ある姿からできることを大切に、もっている経験から生まれる思いやアイデアを生かしていくことを大切にしたいと思った。それを学習へとつないで学びを広げ深めていくことで、体験・経験から実感を伴った成長を感じられるのではないかと考えた。

## 【推進内容等】

戸塚第二幼稚園との年間を通じた交流を通して、子どもたち同士の思いやつながりを意識した活動を大切にしながら学びを進めていく。

# 今年度の重点課題（特に力を入れたこと）

◎継続的に協働活動を取り入れる中で、今ある姿を生かして子どもたちの学びが発展していくことをめざす。

## 【今年度実践】

- ・学校たんけんから、幼稚園生との出会い
- ・さつまいも畑のお世話を通じて助け合い①②
- ・秋遊びでの交流
- ・さつまいもほり交流
- ・やきいもフェスティバルでの交流、冬の遊び交流
- ・学校紹介（これから実施予定）

# 1. 学校たんけんから、幼稚園生との出会い

- ・学校たんけん（裏庭）の時に、学校にある“ウメの木”の実を、幼稚園生が取りに来ているところに遭遇しました。
- ・学校たんけん（畑）で草が伸び放題の畑を見て、遊びたい！虫とりしたい！草を抜きたい！などの声があがりました。



「ようちえんせいにみせたいな」幼稚園生と交流したことが心に残り、学校たんけんのことを伝えたい相手として考えている子もいました。

この畑で、幼稚園生がサツマイモを育てるみたいだよ！

・一年生は、幼稚園生がサツマイモを育てることを知り、自分たちの身長よりも大きい雑草が生えている畑を、幼稚園生のために整えたい！と、話していました。草とりの日には、幼稚園生も一緒に来て、「うんとこしょ、どっこいしょ。」と、自然と力を合わせていました。幼稚園生も、またいっしょに遊びたいという思いをもち、“つながり”が生まれました。



「いっしょにサツマイモをそだてたいな」はじめは、幼稚園生のための草とりのはずでしたが、実際に草を抜いていくなかで、自分たちも幼稚園生と一緒に育てたいな・・・という気持ちが芽生えてきました。

つばやきをひろい、全体で共有化していきました。

## 2. さつまいも畑のお世話を通じて助け合い①

子どもたちが力を合わせてがんばったおかげで、生い茂っていた草もなくなりました。

土の下にしっかり張った根っこまでは、子どもだけでは掘り起こせないで、技術員さんの力をかりて掘り起こしてもらったあと、子どもたちでねっこを取り除きました。

「ねっこもしっかりとったほうがいいとおもうな。」

「くろいシートをかぶせるんだよ。」  
育てていくために必要なことをよく考えていました。



「このねっこ、なかなかぬけないな・・・。」

「みんな～、きょうりよくしてー！！」

力を合わせようと友達を誘う姿もみられました。

「すごいおおきいミミズがいたよ！」

「ミミズがいるはたけは、えいようがあるってきいたことがあるよ。もどしておこう。」

幼稚園での経験を活かす子がいて、他の子どももまた畑にもどしていました。

## 2. さつまいも畑のお世話を通じて助け合い②

苗を植え、成長を楽しみにしています。

「はたけのくさがすごかったよ。とったほうがいいよ」

「ようちえんせいのはたけのも、とってあげよう」

隣の畑にある幼稚園の草にも気づき、すすんで草とりをしてお世話を手伝っていました。



サツマイモの花を発見！調べてみると、見られることはめずらしく、条件がそろわないと咲かないことがわかりました。

【花が咲きやすい条件】

- ・日照時間がある程度短いとき
- ・気温が高いとき
- ・干ばつ気味るとき
- ・ネズミにかじられたり、病気にかかった場合



咲く条件が、必ずしもよい内容ばかりではないことを知り、天候を心配しながら、「みずやりにいったほうがいいよ」と考える子が出てきました。

### 3. 秋遊びでの交流～準備～

- ・公園たんけんて拾った落ち葉やどんぐりで遊びました。

図書館司書と一緒に、どんぐりを使ったおもちゃや飾りを紹介する時間を設けました。

「じぶんたちでもつくりたい」という気持ちが強くなり、つくりたいものの材料を集めてきて、いろいろな遊びが増えました。

- ・自分たちで遊んでいる中で、いろいろな人にもあそんでもらいたいなという、気持ちが芽生え、さつまいも堀りで交流していた幼稚園生を『あきのどんぐりまつり』に招待することになりました。

「ようちえんせいでもあそびやすい、おもちゃをつくらう！」  
「とりあうことがないように、しょうたいするにんずうぶんよういしたらいいね！」  
相手意識をもって活動が進みます。



「ようちえんせいが、たのしくあそべるように、スタンプラリーとどんぐりペンダントもじぶんたちでつくってみよう！」  
さらに楽しめるようにと、工夫が広がりました。

「あきのどんぐりまつりにぜひ、きてください。しょうたいじょうもどうぞ！」  
一人ひとりに招待状を書く中で、ていねいに書いたり喜びそうな飾りをつけたりしました。



### 3. 秋遊びでの交流～招待～

いいね！ じょうずだね！  
こっちだよ！ いっしょにいこう！  
ぜんぶあそんでくれて、ありがとう！  
幼稚園生への温かい声かけが見られました。

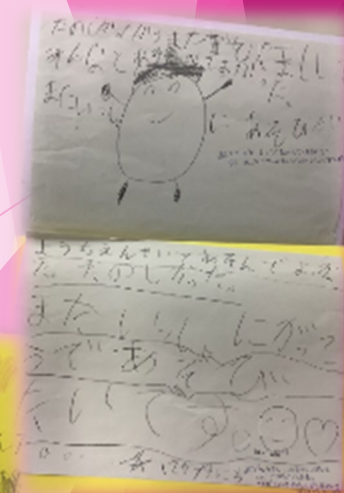
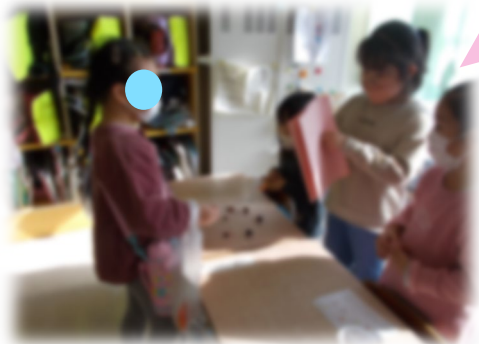


- ・自分たちで何度もデモンストレーションを行い、準備の時間を十分確保して、一生懸命準備しました。
- ・「きんちょうする」「はやく、あそんでもらいたいな」いろいろな気持ちをもちながら、クラス一丸となって幼稚園生を迎えました。

- ・幼稚園生と一緒に遊んだ思い出を形に残したい、という気持ちが芽生え、思い出アルバムを作ったクラスもありました。

ようちえんせいが、えがおになってくれて、とてもうれしかった！

また、いっしょにあそびたいな！





## 4. さつまいもほり交流

育ててきたサツマイモを幼稚園生と一緒に収穫しました！

サツマイモを傷つけないように、優しく土の中を掘りますが、お芋はなかなか見つかりません。育てて収穫することは簡単ではない事に気づきました。

幼稚園生の畑、なかなか抜けないみたいだね。  
幼稚園生の畑で大きいお芋がとれたよ！  
...教師が子どもに伝えると



葉っぱの下を掘ったけれど、なかなかお芋が見つかりません。育てて収穫する大変さを感じました。



立派なつる！  
引っ張って綱引き！  
なかなか抜けず...  
そして、それを見ていた一年生は、幼稚園生の畑のお手伝いをはじめました。

収穫したサツマイモをどう食べよう？  
どうやって遊ぼう？と幼稚園生も一年生もワクワクでした。

焼き芋  
お芋スタンプ...



# 5. やきいもフェスティバルでの交流、冬の遊び交流

- ・収穫したさつまいもを、「幼稚園生といっしょに食べたい!」「またいっしょにあそびたい!」という思いから、『ふゆのやきいもフェスティバル』の計画をし、幼稚園生を招待しました。
- ・やきいもの歌を一緒に歌ったり、さつまいもを焼いている間に冬遊びをしたりしました。
- ・司会の子の「いただきます」の掛け声で、自分たちで収穫したやきいもをみんなで食べることができました。
- ・感想交換タイムを設け、1年生・幼稚園生、どちらも多くの子どもが挙手をし、自分たちの思いを伝え合いました。

やきいも まとめて  
グー・チッ・パー♪  
ジャンケンポン!  
幼稚園で歌ったこと  
あるよ。



おしょうがつ  
あそびの  
ふくわらい  
たのしいね!



いっしょに  
たべることができて、  
たのしかったです!

いただきます!!!



おいしい!!!!  
ほくほくだね!!



きょうは、  
きてくれて  
ありがとう!  
また、きてね!



# 【昨年度からの継続した活動】

## 安心して学校生活に慣れるために・・・

### ◎なかよし広場の活用

児童の登校、健康チェックを終わってからの時間（8：40～9：00）をなかよしタイムとし、教室やなかよしひろばで遊ぶ時間を設定しました。



同じ幼稚園や保育園だった友達と関わることで、安心した表情が見られたり、友達と関わりながら遊びを楽しみ、新しい遊び方を見つけている様子も見られたりしました。

### ◎手遊びや読み聞かせを多く取り入れる。



◎ ようこそ一年生の会での、アサガオの種のプレゼント（新2年生より）

もらった種から、育ててみたいな！と思いをもちたり、幼稚園でも育てた経験を生かしたりして、“自分のアサガオ”を大切に育てました。



◎ 休み時間での学校たんけんスタンプラリー（ようこそ一年生の会で4年生よりプレゼント）や、2年生との学校案内を通して、遊びながら学校の中を知ることができました。



# 【職員同士の関わり合い】

◎ 4月：年度始めの年間計画、方針を共有

◎ 5月：小学校の運動会の見学

小学生になつての成長を感じる場面を見ることができました。

◎ 6月：さつまいも畑の畑づくり

職員同士がともに汗を流しながら、コミュニケーションを図れました。

◎ 7月：幼稚園のじゃがいも掘りの絵を見学

幼稚園での壁一面を使ったのびのびとした表現を見ることができました。



# 【成果と課題】

## 【成果】

- ・主体性、協働性を意識した保育・教育をめざしてきたことで、子どもたちが思いをめぐらし、やりたいことを経験を生かしながら計画・実践できました。
- ・さつまいもの栽培を通じて、昨年度よりも継続的に幼稚園と交流できたことで、いっしょに遊ぶ相手として自然と名前が出てくるようになりました。また、どういう相手かわかっているので、準備にも相手意識をもって取り組むことができ、教科の学習にも目的をもってつなげることができました。
- ・園児は、招待状を一人ひとりが受け取れたことで、小学生の書く手紙にあこがれをもったり、どんぐりまつりの日を待ち焦がれたりする様子が見られました。（幼稚園教諭）
- ・各交流の最後に感想を伝える時間を継続してとったので、園ではみんなの前で感想を言う経験のなかった子も、一年生の様子を見て、堂々と気持ちを発表する様子が見られました。（幼稚園教諭）

## 【課題】

- ・交流園との交流は大変よかったが、その分自分の卒園した園とも交流したいという子どもの思いもつり、それをうまく実現させることができませんでした。すべての園に来てもらうことは難しいものの、子どもの思いを大切にするために、何かできることがあったのではないかと考えました。
- ・幼稚園でやっている手遊びなどを教えてもらおうとよいと思いました。（幼稚園の生活の見学などもできるとよい。）